岐阜県災害警戒本部員会議（第１回）

【日時】令和8年１１月８日（日）　５:００～
【場所】5階　災害対策本部室

数値等は、速報値のため今後変更となることがある。

会議の目的

〇地震の概要

〇状況の共有

〇当面の対応方針

次第

１　地震の概要

２　被害の状況

３　県の対応状況

４　各部等の対応状況

５　副知事指示事項

1　地震の概要

地震の概要

検知時刻 （最初に地震を検知した時刻）	11月8日01時04分
発生時刻 （地震が発生した時刻）	11月8日01時04分
マグニチュード	5.7（暫定値）
発生場所	静岡県西部 深さ41km（暫定値；速報値　深さ約40kmから更新）
発震機構	東北東ー西南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震（速報）
震度	【最大震度5強】愛知県の知多市（ちたし）で震度5強を観測したほか、関東地方から中国・四国地方にかけて震度5弱～1を観測
地震活動の状況 08日02時35分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が1回発生（震度2：1回）
長周期地震動の観測状況	長野県南部、愛知県東部、愛知県西部で長周期地震動階級1を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

（防災上の留意事項）

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

（今後の地震活動の見通し）

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

（今回の地震と南海トラフ地震との関係）

今回の地震は南海トラフ地震の想定震源域の中で発生した地震です。

この地震の規模から、南海トラフ沿いのプレート間の固着状態の特段の変化を示すものではないと考えられます。

今後も地震活動や地殻変動を注意深く監視します。

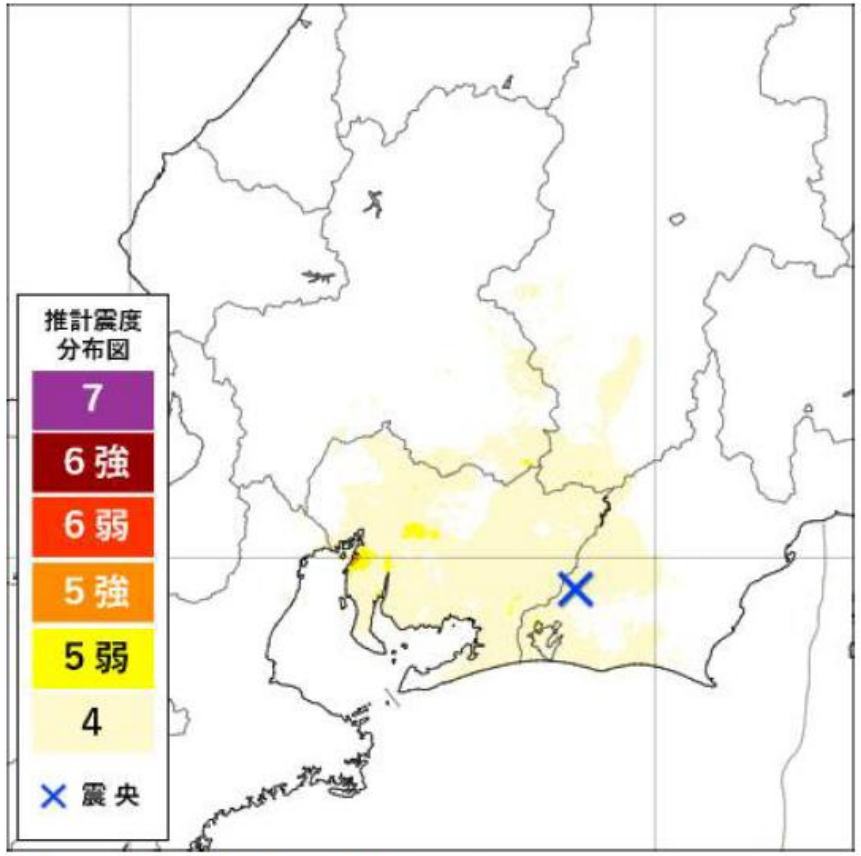
震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】



11月8日01時12分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

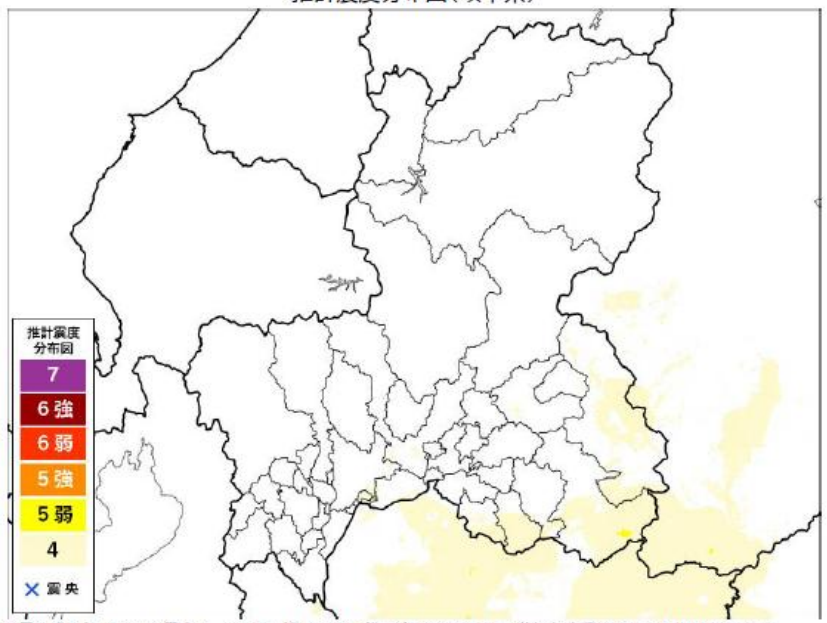
最新の情報は、以下のページでご確認ください。
地震情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
推計震度分布図：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

震度分布図(岐阜県)



[情報発表時刻]11月8日01時12分

推計震度分布図(岐阜県)



※ 地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがあります。また、震度を推計する際にも誤差が含まれますので、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。
個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。

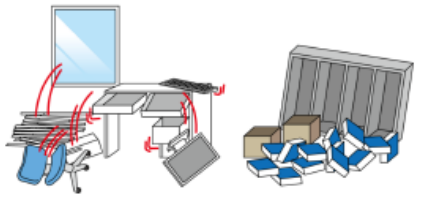
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級1	長野県南部　愛知県東部　愛知県西部

11月8日01時13分発表



階級４



立っていることができない

階級３



立っていることが困難

階級２



物につかまりたいと感じる

階級１



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。
長周期地震動に関する観測情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm

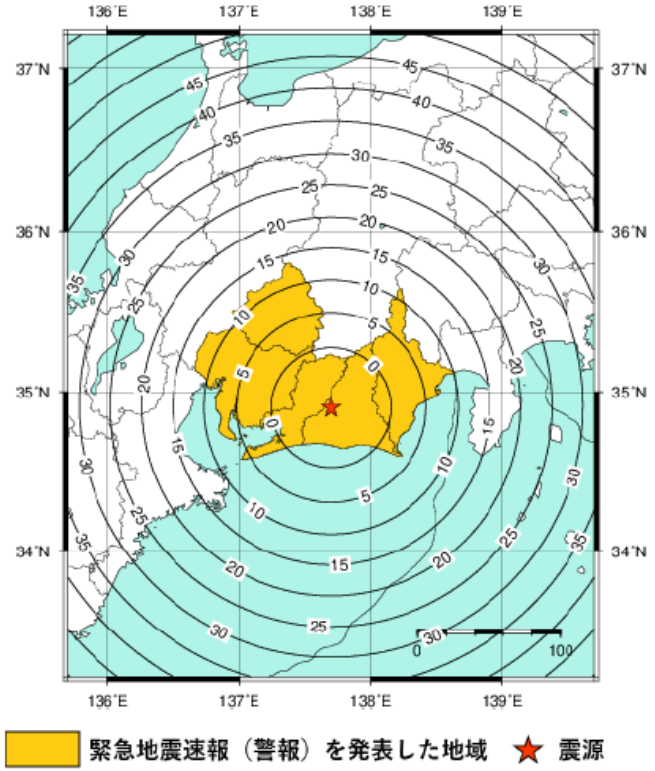
緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過時間（秒）	震源要素					予測した震度と階級
地震波検知時刻	01時04分41.8秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第6報	01時04分49.5秒	7.7	愛知県東部	34.9	137.6	40km	5.5	※3

※3	震度5弱程度	愛知県西部
	震度4程度	静岡県西部、愛知県東部
	震度3から4程度	静岡県中部、岐阜県美濃東部

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



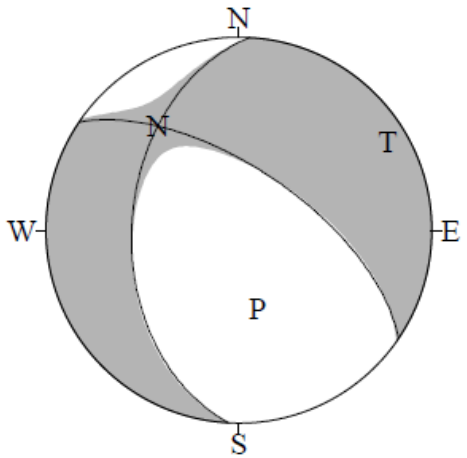
発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。
緊急地震速報(警報)の発表状況：https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

発震機構解

11080104

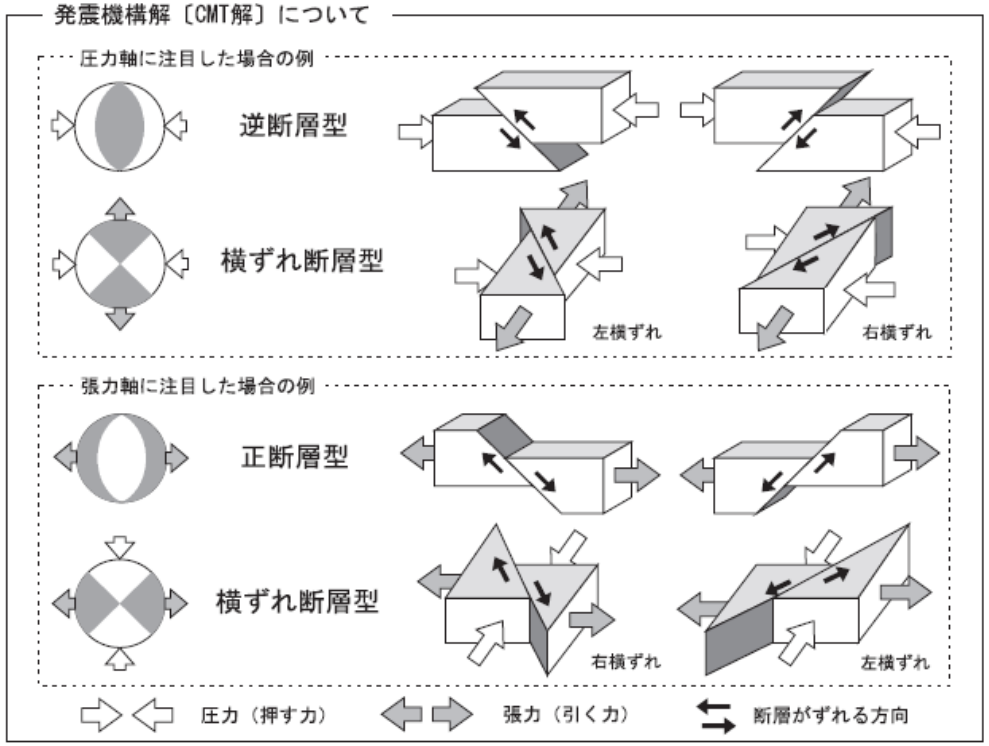
東北東－西南西方向に張力軸を持つ型

[CMT解(速報)]　　Mw=5.5



下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

セントロイドの位置
北緯 34度58分
東経 137度39分
深さ 約35km
※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を１点で
代表させた場合の位置。



気象庁作成

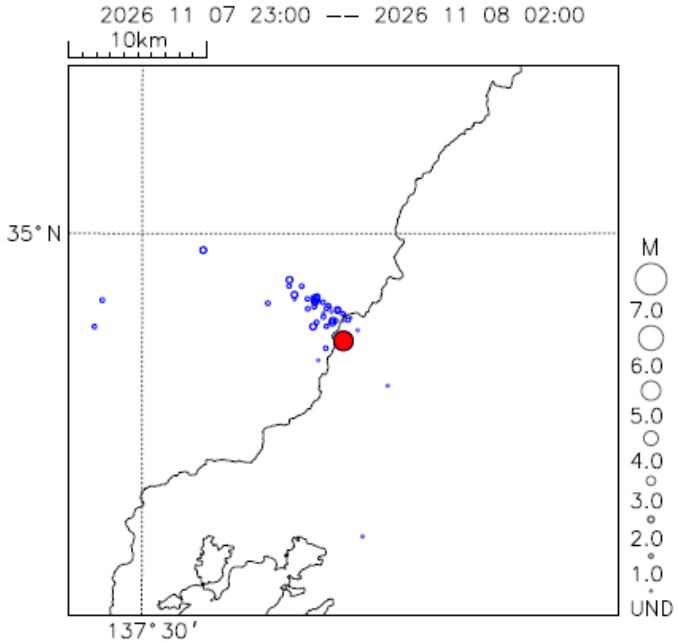
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、　M　全て

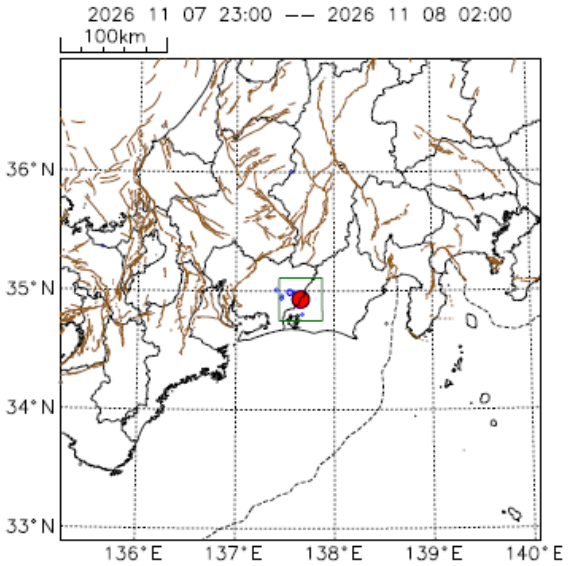
2026 11 07 23:00 -- 2026 11 08 02:00



震央分布図（広域図）

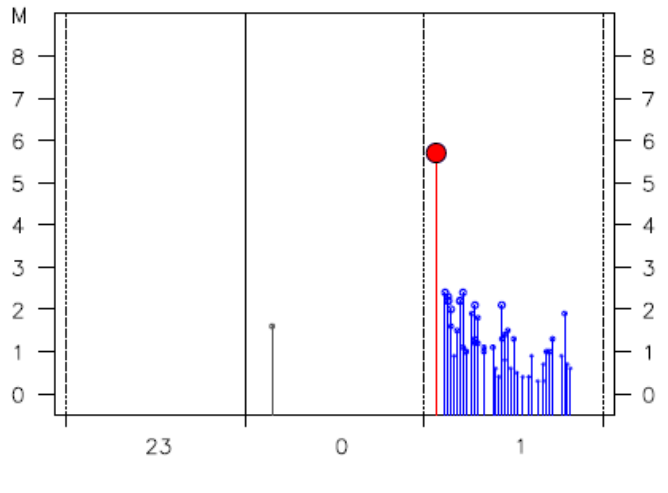
深さ0 -- 100km、　M　全て

2026 11 07 23:00 -- 2026 11 08 02:00



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 11 07 23:00 -- 2026 11 08 02:00



（震源の色について）赤色：今回の地震　青色：今回の地震より後に発生した地震　灰色：今回の地震より前に発生した地震

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

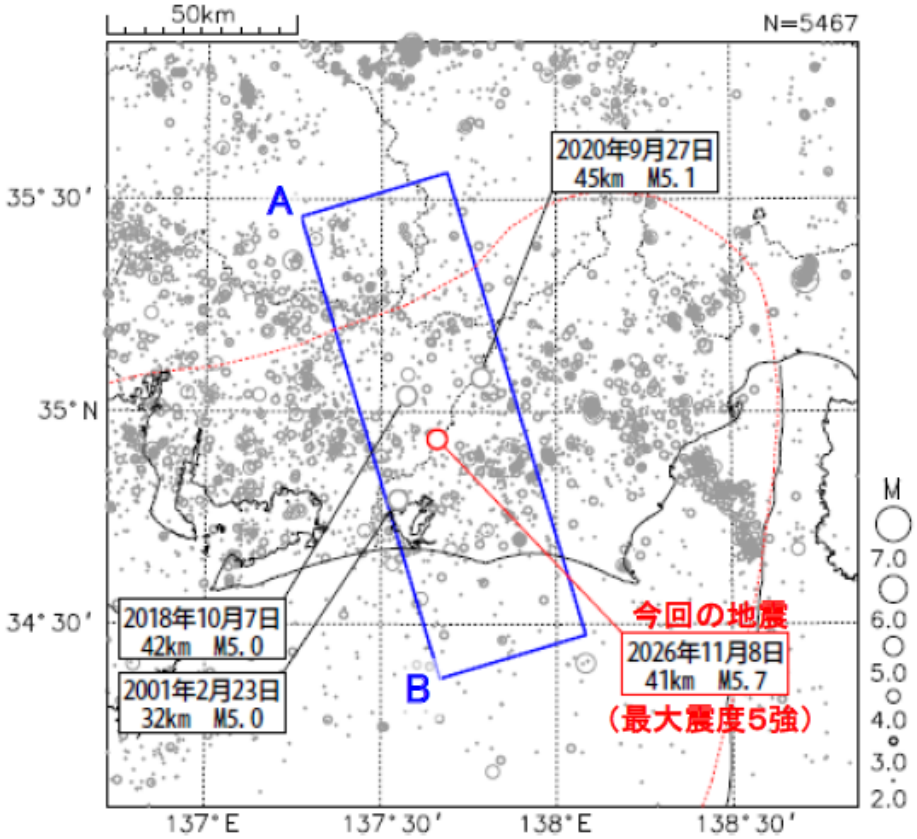
＜資料の利用上の留意点＞

・表示している震源は、速報値を含みます。
・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

気象庁作成

令和8年11月8日　静岡県西部の地震
（発生場所の詳細）

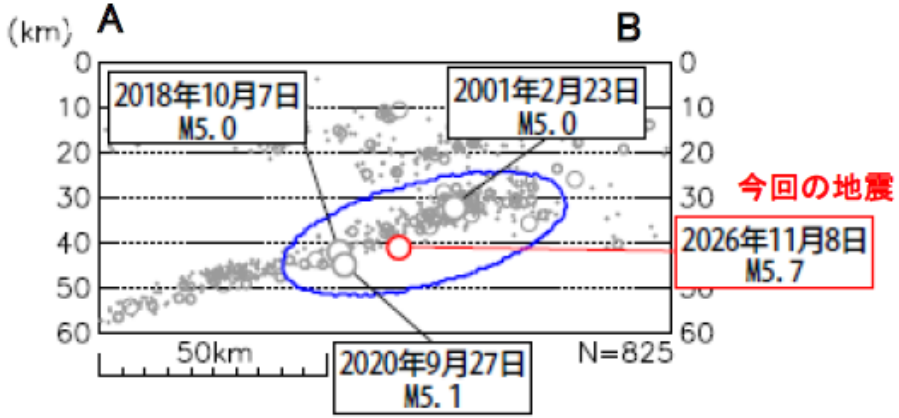
震央分布図
（1997年10月１日～2026年11月８日01時05分、
深さ0～60km、M2.0以上）



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
赤点線は南海トラフ巨大地震の想定震源域

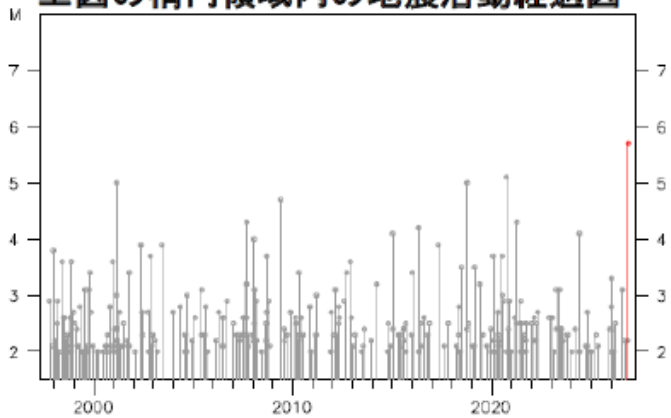
2026年11月８日の地震を赤色で表示

左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の楕円領域内の地震活動経過図



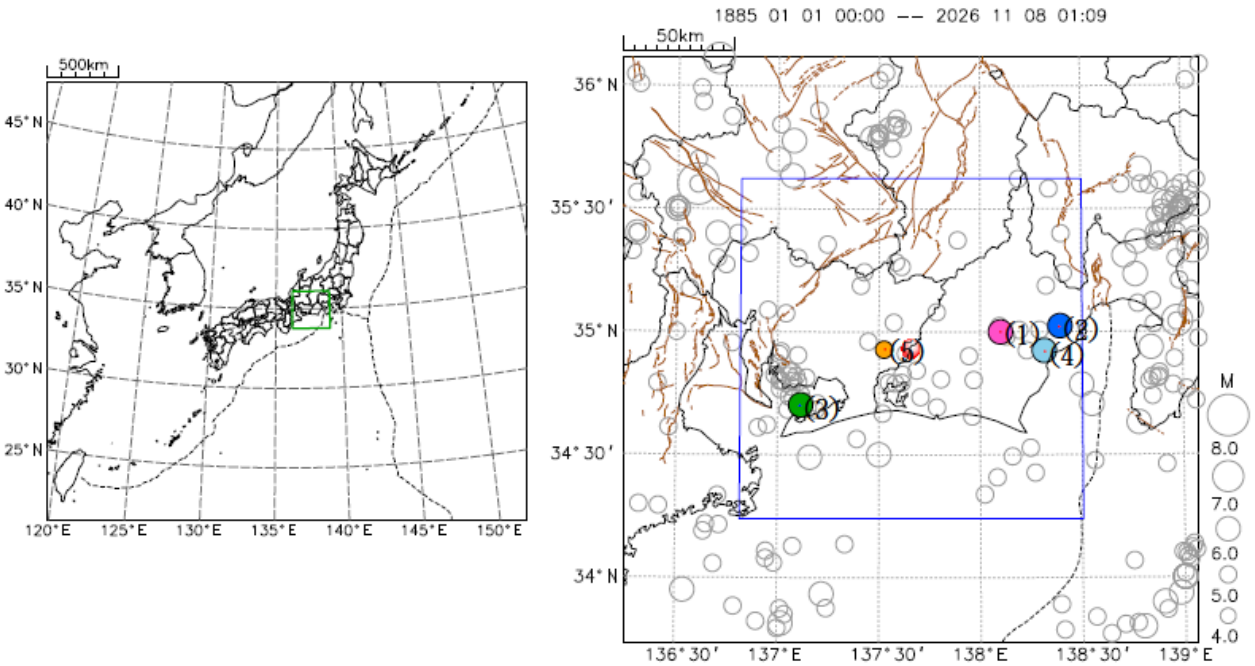
横軸は時間、縦軸はマグニチュードであり、縦棒のついた丸は
地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

気象庁作成

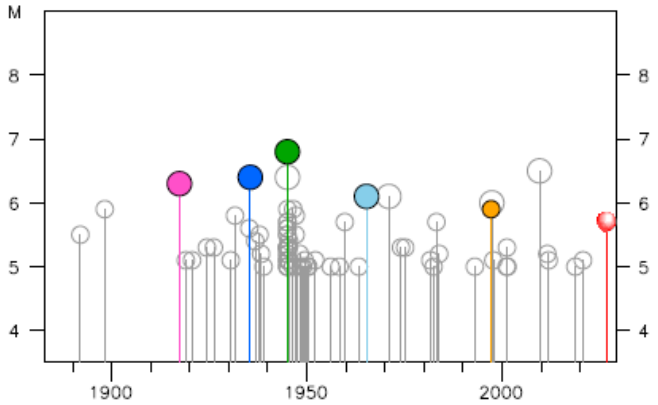
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

M ≧ 5.0 ， 深さ ： 0 ～ 150km
今回の地震を赤く表示



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応
桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

(1) 1917年05月18日 M:6.3 静岡県中部

(2) 1935年07月11日 M:6.4 静岡県中部

(3) 1945年01月13日 M:6.8 三河湾
三河地震

(4) 1965年04月20日 M:6.1 静岡県中部

(5) 1997年03月16日 M:5.9 愛知県東部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982, 1985）及び茅野・宇津（2001）による。

＜地震の名称について＞

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。
名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
・地震の名称の後ろの［］は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。
名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、［］内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

＜資料の利用上の注意点＞

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。
※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。
この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。
一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

気象庁作成

発表した情報などについて

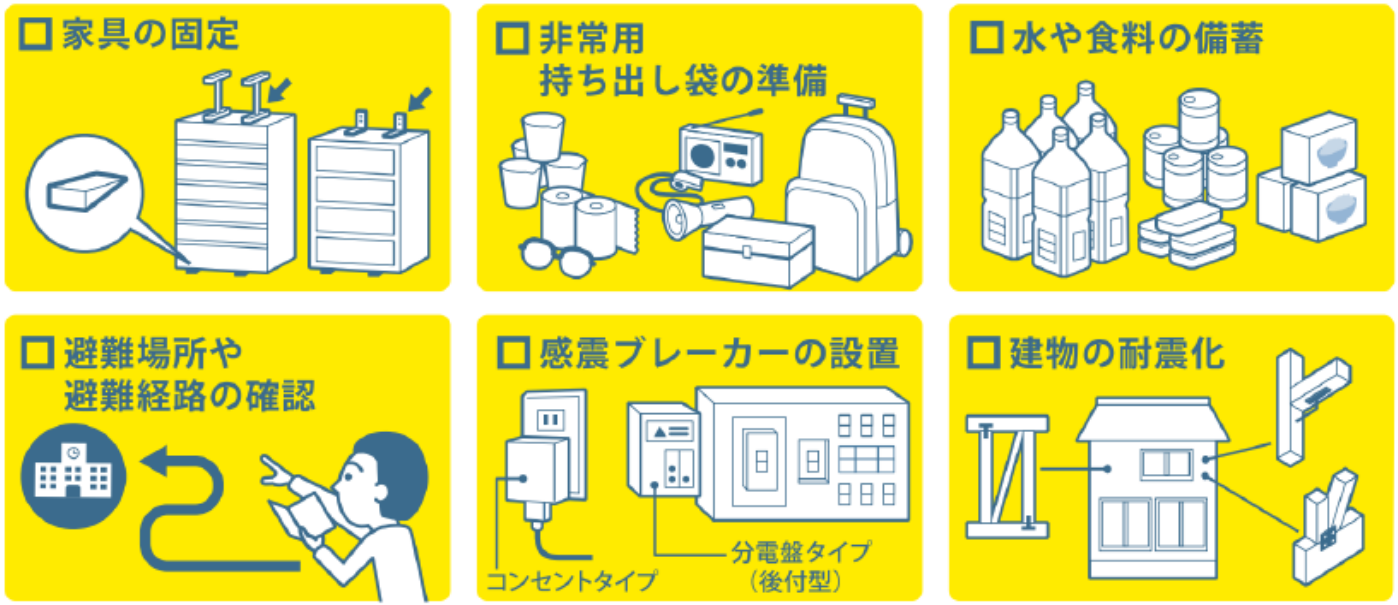
- 津波警報等の発表状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami
- 津波の観測状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami
- 潮位観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel
- 地震情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm
- 緊急地震速報の発表状況
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html
- 震央分布
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo

- 地震から身を守るために
  https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
  https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X（旧Twitter）
  https://x.com/JMA_bousai



日頃からの地震・津波への備え

日本国内では、いつどこで規模の大きな地震が発生してもおかしくありませんので、
日頃からの地震・津波への備えを心がけてください。





沿岸にお住まいの方は、「津波ハザードマップ」で
「津波の避難場所」や「避難経路」等を確認しておきましょう。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/jishin_bosai/index.html
津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/tsunami_bosai/index.html

２　被害の状況

２　被害の状況

（１）　県内の被害状況

情報収集中

３　県の対応状況

３　県の対応状況

○1:04　岐阜県災害警戒本部設置

４　各部等の対応状況

危機管理部

○ 災害情報集約センター内の指揮総括チーム、災害情報集約チームにおいて住民避難、被害に関する情報を収集中

総務部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

総合企画部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

環境エネルギー生活部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

健康福祉部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

子ども・女性部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

商工労働部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

観光文化スポーツ部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

農政部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

林政部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

県土整備部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

都市建築部

○ 現時点で被害情報なし、引き続き情報収集中

県警本部

○ 警備部長を長とする警備本部を設置

５　副知事指示事項

５　副知事指示

○　本日午前1時4分に発生した地震の状況について、岐阜地方気象台や各部からの状況を報告いただいた。

○　現時点で大きな被害は確認されていないが、今後もより大きな地震が発生するかもしれず、引き続き注意して対応していただきたい。

○　深夜の地震ということで、県民の皆さまは就寝中の方も多かったと思うが、倒れやすい家具から離れて寝ていただくなど、今後地震が発生した時に、怪我をしないように注意していただきたい。

５　副知事指示

○　その上で、各部や市町村の皆さまには、下記の２点をお願いする。

○　１点目は情報収集について。これから明るくなり、情報収集を進めていく中で、地震に伴う道路被害や土砂崩れなど、新たな被害が判明するかもしれないので、適切に被害情報を収集し、速やかに報告していただきたい。

○　２点目は災害対応のための準備について。今後さらに大きな地震が発生することも考えられるので、避難所の設置、必要な資機材の確保、土砂崩れの際の立入規制など、被害発生時に、県民の生命・安全を守るための対応が速やかにできるよう、万全な準備を整えていただきたい。